



高澤 議員

全国学力・学習状況調査の分析と対策は

全国学力・学習状況調査の分析結果は

質問

全国学力・学習状況調査の分析結果について伺う。

教育長答弁

学力調査の分析結果については、小学校6年生及び中学校3年生では、国語、算数・数学ともに、知識の定着に比べて活用に課題が見られた。この結果分析を通して、児童生徒の活用・応用力の習得を図るために、各校へ改善の方

向を示している。

学習状況調査については、学力と相関関係が見られた主な内容として、小学校では休日の家庭学習、テレビやゲームの時間等が課題になっている。中学校では、それに加え基本的な生活習慣、携帯電話、積極性や自己肯定感の育成、読書等が学習課題になっている。

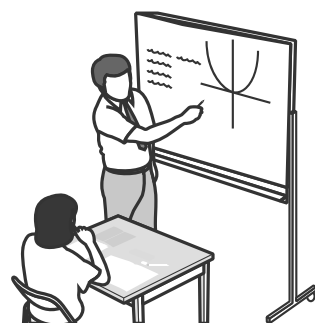


質問

市の教育方針としての今後の目標及び全国学力・学習状況調査結果の公表について伺う。

教育長答弁

市の教育方針としての今後の目標については、小学校では、今年度の調査結果を維持しながら活用する力を更に伸ばすこと。中学校においては、基礎的・基本的な知識・技能の習得を確実に図り、県・全国平均を上回ることを目指している。結果の公表については、当



市では、基本方針として文部科学省の方針に基づいて行っており、市全体の調査結果とその分析を踏まえた今後の改善策を併せて各学校へ示したり、文教民生常任委員会での報告を通して公表している。



鈴木 議員

市民の目線に立った市政の実現は

市長公約実現の割合と取り残された課題は

質問

市民の目線に立った市政の実現のために努力してきた点と市民の評価及び市長公約実現の割合と取り残された課題

について伺う。

市長答弁

市民の目線に立った市政の実現のために努力してきた点と市民の評価については、一日も早く新市としての一体化を図るため、市政懇談会や全地区訪問懇談会、地区要望会

などで多くの市民の声を聴き、いただいた意見はできるだけ市政に反映してきており、一定の評価をいただいたと思っている。

市長公約実現の割合と取り残された課題については、新市としての一体化を目指し、公約を市政に反映してきたが、昨今の社会経済情勢の変化に伴い、行政需要が増す中において、少子化対策など行政課題が山積しているため、今後積極的な取り組みが必要と考えている。

市民への情報伝達としての広報紙・お知らせ版は

質問

広報紙・お知らせ版の中で改善されるべき点や今後の課題及び子どもしんぶんの発行や子ども向けのホームページの開設について伺う。

市長答弁

改善されるべき点や今後の課題については、行政情報を早く正確に、わかりやすく提供することを最優先に作成し

ており、今後も市民に読みやすい広報になるよう努めていく。

子どもしんぶんの発行については、児童・生徒の対年齢が幅広いことから、当面は作成しない。

子ども向けホームページの開設については、新年度のホームページ改修の中で検討していきたい。

《その他質問項目》

- ・地域医療の整備体制
- ・市男女共同参画プランの推進